

(表紙の写真) 新年を迎えた分館館内

所沢分館は今年4月で開館10周年を迎えます。連日、多くの方に利用され、地域の図書館として親しんでいただいています。所沢分館の蔵書数は約20万冊となりました。

とこぶん通信

2020年1・2月号

★旧町の歴史書散策★◎

『旧鎌倉街道探索の旅 1』



上道・山の道編 芳賀善次郎/著 682/ハ/1
 「上道は鎌倉から化粧坂を越えて境川流域を北上、武蔵国府(府中)から関東山地の東ふもとを北に進んで高崎に出る。」
 旧町である元町近辺は次のように紹介されています。
 「この辺りは、所沢市元町で、旧街道に沿って古くから所沢宿のあった所である。古くは野老沢と表記されていた。前述の実蔵院の山号にも野老山とある。戦国時代の天正以降に所沢と表記されるようになった。旧鎌倉街道に沿った南北の宿場は、南の久米川宿に近いので宿駅ではなく、ほんの五〜六軒の家があっただけだったろうという。また、ここには、刀剣の鍛冶屋などもあったようである。」当時の鎌倉街道に沿った様子を知ることができます。

所沢分館長です 📧

2020年が始まりました。2010年(平成20)に現在の所沢分館がオープンして、4月で10周年を迎えます。指定管理者として管理運営を任せていただいているから、8年となります。その間、地域の図書館分館として多くの方にご利用いただき、感謝申し上げます。今後も図書館サービスの充実に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今月号は1月・2月合併号になります。

次号は3月1日(日)発行予定です。



本年もどうぞよろしく願い申し上げます

【所沢分館1・2月の休館日】

- 年始休館日 1/ 1日(水)~4日(土)
- 月曜休館日 1/ 6日・20日・27日 (13日は祝日開館)
2/10日・17日 (24日は祝日開館)
- 振替休館日 1/14日(火)、2/25日(火)
- 蔵書点検休館 2/3日(月)~7日(金) 図書整理日 2/26日(水)

♪ ところぶんイベント情報 ♪

一般向け

会場・1F多目的会議室

1/11 (土)	14:00	高橋玄洋ドラマ上映会「さよなら三角またきて四角」(第7・8話) 全13話
1/12 (日)		市民映画会「ジェイン・エア」
1/19 (日)		市民映画会「椿三十郎」
2/1 (土)	14:00	高橋玄洋ドラマ上映会「さよなら三角またきて四角」(第9・10話) 全13話
2/9 (日)		市民映画会「黄色いリボン」
2/16 (日)		市民映画会「アヒルと鴨のコインロッカー」
2/23 (日)		大人のおはなし会
*当日、直接ご来場ください		

★ところぶん寄席のご案内★

入船亭小辰の落語公演

今年も新春ところぶん寄席の季節となりました。おなじみの小辰さんの落語でお楽しみください。

期日：令和2年1月26日(日)

時間：13:00～ 14:30～ 同一内容の2回公演

会場：所沢分館1階多目的会議室

定員：各回40人 無料

申込：1月12日(日)9:30～ 所沢分館2Fカウンターまたは、

電話 04-2923-1243

★今月の一冊★

NHK2020大河ドラマ 「麒麟がくる」関連本①

『明智光秀と本能寺の変』

2020年(令和2)のNHKの大河ドラマは「麒麟がくる」で、明智光秀が主人公です。明智光秀は1582年(天正10)仕えていた織田信長を京都本能寺に襲撃しました。いわゆる「本能寺の変」は歴史を変えた事件で、その解明のため、多くの著作が出されています。

ところで、意外に知られていないのが、光秀の前半生です。『明智光秀と本能寺の変』では、信長に登用されるまでは光秀は低い身分であったとして、次のように要約しています。

①光秀は土岐明智氏の出身ではなく、美濃の土豪クラスではなかったか。

②光秀が越前・朝倉氏に仕えた可能性は低い。

③光秀は藤孝に仕え、同時に義昭の足軽衆に登用された可能性が高い。

著者の渡邊大門氏は可能な限り一時史料を用い、安易に二次史料を使うことを諫めています。本能寺の変をどのように推論しているかは、本書でお確かめください。

渡邊大門/著 S289.1/A

〈その他関連本の一部をご紹介します〉

『明智光秀・秀満』小和田哲男/著 289.1/A

『信長家臣明智光秀』金子拓/著 S289.1/A

『明智光秀の生涯』諏訪勝則/著 289.1/A

* 所沢図書館所蔵の本は予約・取り寄せすることができます。

蔵書点検作業のため、2月3日(月)～7日(金)は休館となります。